各社協力し力を発揮

賀詞交歓会　災害時には全面協力

鉾田市建設業協議会

鉾田市建設業協議会（藤枝洋一会長）は1月24日、賀詞交歓会を鉾田市のホテルニュー麻生で開催した。当日は田山東湖県議会議員や岸田一夫鉾田市長、入江晃鉾田市議会議長らの来賓も駆け付け、新しい年の門出を盛大に祝った。

冒頭、藤枝会長は「原油価格高騰や資材価格の上昇が続き、建設業界を取り巻く状況は厳しさを増している。また、近年は異常気象による災害も全国で頻発しており甚大な被害が出ている。当協議会は鉾田市と災害協定を結んでおり、災害に対しては全面協力していく所存」と強調した。

そして「茨城県と鉾田市が太いラインで結ばれていることは非常にありがたいこと。それに報いるためには業者間のチームワークが必要不可欠であり、各社の協力があってはじめてわれわれが力を発揮できるものと確信している」と述べた。

田山県議は「大変厳しい環境にあると思うが、経済の主体は雇用の多い建設業界。まだまだインフラ整備や災害への復旧工事も進めていかなければならない」と述べた。

また「鉾田市は合併20年の節目の年。そして戦後80年、昭和から数えて100年の年でもある。変革の年にふさわしい元気のある鉾田市にしていただきたい」と期待を込めた。

岸田市長は「皆さまには災害時の迅速な対応、そして毎年行っていただいている教育施設へのボランティア活動に感謝申し上げる。皆さま方に仕事をつくるのが私の使命。これからも皆さまのお力をお借りして市民の幸せのために頑張ってまいりたい」と意気込んだ。

入江議長は「皆さまには日ごろから大変お世話になっている。超高齢社会による人材の不足、物価の高騰など課題は多いが鉾田市発展のため頑張ってまいりたい」と決意を表明した。

その後は祝宴に入り、全員が和やかに歓談して親睦を深めた。

藤枝会長

田山県議会議員

岸田鉾田市長

入江市議会議長

先人の御霊に祈り

祈願祭 慰霊祭　全員で安全を祈願

県鳶・土木工業会

県鳶・土木工業会（山関忠会長）は1月26日、水戸市の別雷皇太神で新年の祈願祭と慰霊祭を執り行った。参加者全員で1年の安全を祈願するとともに、先人の御霊に祈りを捧げた。

この祈願祭と慰霊祭は1年の安全を祈願するとともに、歴代の物故者の霊を慰めるためのもの。当日は約30人が参加した。

祈願祭では杉山英夫名誉会長、山関会長らが玉串を奉奠した。祈願祭の終了後には「由緒の碑」の前へ移動して慰霊祭を挙行。物故者の御霊を慰めた。

神事を終えた山関会長は「先人の御霊がわれわれを1年間守ってくれると思う。精進して頑張ってまいりたい」と話した。

祈願祭と慰霊祭の参加団体は次のとおり。

■県鳶・土木工業会
■つくば鳶職組合
■日立鳶職組合旭会
■土浦鳶職組合
■古河鳶一番組
■水戸鳶職組合
■結城鳶工業組合
■龍ヶ崎鳶職組合
■岩瀬鳶職組合
■江戸崎鳶職組合
■鹿行鳶職組合
■県連合若鳶会
■つくば若鳶会
■日立若鳶会
■土浦若鳶会
■水戸若鳶会
■龍ヶ崎若鳶会
■江戸崎若鳶会
■鹿行若鳶会

協力しながら組合運営

定期総会 懇親会　新若鳶会長に大越氏

水戸鳶職組合

水戸鳶職組合（小沼勝吉組頭）は1月25日、水戸市の割烹魚政で第67回定期総会を開催。2025年度予算案や事業方針案などを審議した。総会後は水戸若鳶会（関俊治会長）とともに懇親会を開催し、親睦を深めた。

総会では24年度決算報告、会計決算報告、25年度予算案、事業方針案を審議。原案どおり承認された。

懇親会には山関忠県鳶・土木工業会長、高橋靖水戸市長、川津隆県議会議員、大信成人水戸市消防局長、袴塚孝雄水戸市議会議員らが来賓として出席。

冒頭、小沼組頭は「本年も組合員と協力しながら組合を運営してまいりたい」とあいさつ。関若鳶会長は「ことしも会員増へ力を入れて、梯子乗りができるメンバーを揃えてまいりたい」と意欲。また、役員改選に伴い、ことしから大越賢一氏が新会長に、松本恭太氏が新副会長に就任することを発表した。

また、昨年12月の県職業能力開発促進大会にて技能検定永年功労者の表彰を受けた小沼組頭に、鈴木洋治相談役と松本一幸相談役が花束を贈呈した。

来賓の高橋水戸市長は「出初式で見事な梯子乗りを披露していただき感謝申し上げる。伝統文化が守れるよう、私たちもしっかり支援してまいりたい」と述べた。また「建設業界が適正な価格で受注し、適正に発展し、人材も確保できる魅力ある業界になるよう皆さまと協力してまいりたい」と力を込めた。

川津県議会議員は「雇用を支え、地域の安心安全を支える皆さまはなくてはならない存在。県央・県北地区の経済発展を進め、皆さまに元気になっていただけるよう努力してまいりたい」と決意を表明した。

その後は松本一幸相談役の発声で乾杯し、祝宴に入った。

山関会長

関会長

小沼組頭

川津県議会議員

高橋水戸市長

早期事業化へ機運醸成

鹿行南部道路 設立記念式典開く

期成同盟会

東関東自動車道鹿嶋神栖線（仮称）鹿行南部道路建設促進期成同盟会（会長＝田口伸一鹿嶋市長）の設立記念式典が1月27日、神栖市のアトンパレスホテルで挙行された。当日は多数の来賓が参集し、鹿行南部道路建設の機運を高めた。今後、同会は早期事業化に向けた取り組みを加速させていく考えだ。

同会は鹿行南部道路の基本方針が策定されたことを受け地元である鹿嶋市、神栖市、潮来市の3市で設立。国土交通省や財務省などに対する要望活動を行ってきた。

主催者を代表して田口会長が登壇。鹿行南部道路の基本方針が示されたことについて「昭和30年代後半からはじまった鹿島開発以来の悲願であり歴史的な進歩」と述べた。また、「今後地元が一丸となって関係機関への要望を進めていきたい。鹿島開発の集大成となる鹿行南部道路を一日でも早く完成させるため、皆さまにはお力添えをお願いしたい」と呼び掛けた。

来賓あいさつでは、同会の特別顧問である額賀福志郎衆議院議長の「鹿行南部道路は今後の地域に必要不可欠であると考えている。一刻も早い事業化と開通を目指していく」とのメッセージを雨谷丈次秘書が代読。小沼巧県議会議員が「茨城のために社会インフラを整備しようという思いは党派を越えて一致している。皆さまの取り組みを後押しする役割を果たしてまいりたい」と強調。

和賀正光都市局長は「鹿行南部道路の整備により鹿島臨海工業地帯のポテンシャルがいかんなく発揮され、生産性向上や地域活性化が期待される。いかに早期に具体化を図っていくかが重要」と述べた。その後、佐近裕之常陸河川国道事務所長が道路計画の基本方針を説明した。

鹿行南部道路は鹿行地域のポテンシャルを十分に引き出し、国際競争力の強化や生産性の向上、周辺地域のさらなる活性化を図り、東関東自動車道水戸線潮来IC周辺と鹿島臨海工業地帯との速達性の強化を目的に計画。起終点は東関東自動車道水戸線潮来IC周辺～鹿島臨海工業地帯波崎地区工業団地周辺まで。

和賀都市局長

佐近所長

小沼参議院議員

田口会長

校舎増築工は中止

みどりの南小中学校　つくば市

つくば市は、みどりの南小学校・中学校の校舎増築工事を2025年度も実施しない考えであることが分かった。増築については当面中止し、児童生徒の推計を注視しながら多目的室など既存の余裕教室を活用して対応する考え。

みどりの南小学校・中学校（みどりの南106－1～4、6）はみどりの学園義務教育学校の分離新設校として24年4月に開校。24年度に実施予定だった増築工事は、児童生徒数の増加に対応するためのもの。設計は㈱青山建築設計事務所が策定。規模は小学校校舎がRC造2階建て833㎡、中学校校舎がRC造2階建て950㎡。24年度当初予算で2カ年継続費を設定しており、総額は10億2828万6000円。内訳は小学校が4億8687万7000円、中学校が5億4140万9000円。

市は昨年6月13日に1回目の一般競争入札を公告したが、予定価格を下回る入札がなかったため不調。8月21日に行われた2回目の入札は参加者なしで中止となった。3回目の公告では参加形態を2者JVから単体に変更。地域要件の指定もなしにするなど参加資格を緩和したが、入札参加者がいなかった。

鹿島製作所で工場増築

レイズネクストが施工

ダイキン工業

ダイキン工業㈱鹿島製作所（神栖市砂山21）は、敷地内で工場の増築を行う。施工はレイズネクスト㈱（神奈川県横浜市）が担当し、設計は同社一級建築士事務所が策定。工事完了予定日は2026年4月30日としている。

建設するのはKDP建屋、出荷場上屋、テントハウス、PMVEトン容器小屋、ハロゲンボンベ小屋、ポリマーシード保管容器小屋。

各施設の概要はKDP建屋がS造4階建て。建築面積1026・19㎡、延べ床面積3243・65㎡。出荷場上屋はS造平屋建て。建築面積は1196・92㎡、延べ床面積は117㎡。

テントハウスは膜構造平屋建て165・24㎡。PMVEトン容器小屋はS造平屋建て10・75㎡。ハロゲンボンベ小屋はS造平屋建て6㎡。ポリマーシード保管容器小屋はS造平屋建て8・75㎡。

ネーミングライツ募集

公民館など3施設対象　古河市

古河市は、7月に契約期間満了となる市内3施設について、ネーミングライツ事業者を募集する。応募期日は3月28日まで。契約期間は3年以上5年以内。

対象施設は、中田公民館、古河東公民館、駅南サイクルセンターの3施設。

希望金額は、いずれも30万円／年。応募資格は自ら命名権者になろうとする民間事業者（法人に限る）としている。

公共施設の愛称を決定する権利を法人に付与することで、当該法人から新たな財源を得て、施設の管理運営等に役立て利用者へのサービス向上を図る。

鉄を通して社会に貢献する
鉄骨建設業
国土交通大臣認定Mグレード工場
株式会社 オーバル・テック
代表取締役 奥津弘士
〒311-4146 茨城県水戸市中丸町二七六－三
TEL〇二九－二五二－三八四一
FAX〇二九－二五二－〇一〇三
URL：https://www.ovaltec.jp

県土木部・幹部　きょうの動向

（○＝在庁　●＝不在）

	午前	午後
[本課]		
部長	○	○
次長	○	○
次長兼総括技監	○	○
都市局長	○	○
港湾振興監	○	○
企画室長	○	○
監理課長	○	○
用地課長	○	○
検査指導課長	○	○
道路建設課長	○	○
道路維持課長	○	○
河川課長	○	○
港湾課長	○	○
営繕課長	○	○
都市計画課長	○	○
都市整備課長	○	○
下水道課長	○	○
建築指導課長	○	○
住宅課長	○	○
[出先]		
水戸土木所長	●	○
常陸大宮土木所長	○	○
大子工務所長	○	○
潮来土木所長	○	○
土浦土木所長	○	○
筑西土木所長	○	○
常陸太田工事所長	○	○
高萩工事所長	○	○
鉾田工事所長	○	○
竜ケ崎工事所長	●	●
常総工事所長	○	○
境工事所長	○	○